

SSCP 難易度と 独学合格術

応用情報レベル？ 7 割合格の本当の壁

50 ～ 200 時間 ・ 7 ドメイン ・ 受験料 249 ドルの受験実態



独学でも受かるんでしょか？

正しく潰せば必ず届く資格だ。



【解説に入る前に】サービスのご紹介



セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- ✓ 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- ✓ リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- ✓ セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

[詳細を見る →](#)



セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- ✓ 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- ✓ 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- ✓ 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

[詳細を見る →](#)



どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。

ISC2 資格の難易度序列

1

CC (入門)

セキュリティを学ぶ初学者向けの入門資格

2

SSCP (実務)

システムを守る実務担当者向けの Practitioner 資格

3

CCSP (専門)

クラウドセキュリティに特化した専門資格

4

CISSP (管理)

セキュリティ戦略を統括する Professional 資格

SSCP は実務者の中級資格だ。



● 応用情報技術者試験と並べて語られる根拠



出題の性質が共通

ベンダー中立・広く浅く・仕組みの理解を重視



合格ラインの違い

SSCP7割 vs 応用情報6割。SSCPがやや高め



難易度の核心

英語ベース以外は求められる知識の深さは同等

● SSCP が難しいと感じる 3 つの理由



日本語教材が少ない

英語ベースの学習が必要。専門用語を英日セットで覚える



7 ドメインと広範囲

運用・暗号・ネットワーク等を横断的に問われる



合格率が非公開

模擬問題 7 割超えを受験判断の唯一の基準にする



3 つとも対策は明確。英語・範囲・目標設定を一つずつ潰す。



● SSCP の 7 つの出題ドメイン

1

セキュリティ運用

ポリシー・リスク管理の基本を押さえる

2

アクセス制御

認証・認可・ID 管理の仕組みを扱う

3

リスク分析

脅威の特定・モニタリング・評価・報告

4

インシデント対応

対応手順・復旧計画の策定と実行

5

暗号化

対称・非対称暗号の概念と実務用途

6

ネットワーク

通信プロトコル・境界防御・VPN

7

アプリセキュリティ

ソフトウェアの脆弱性管理と安全な開発

● 試験概要と受験資格

試験スペック



出題数・時間

100 ～ 125 問・四肢択一・最大 2 時間



合格ライン

1000 点満点中 700 点以上（7 割）



受験料

249 米ドル（Pearson VUE・CBT）

受験資格と認定要件



認定の実務経験

7 ドメイン中 1 つで 1 年以上が必要



未経験者の選択肢

合格後は Associate of ISC2 として登録可



正式認定の流れ

登録後 2 年以内に実務経験を積みば OK

● レベル別・勉強時間の目安

実務経験者

50 ～ 100 時間が目安

- ・ 問題集から先に解き弱点を洗い出す
- ・ 英語専門用語の言い回しに慣れる
- ・ 1日1～2時間で1.5ヶ月が目安

VS

初学者・未経験者

100 ～ 200 時間が目安

- ・ 公式ガイドで全体像を把握する
- ・ ドメインごとに用語を潰す
- ・ 1日1～2時間で3ヶ月前後が目安

学習の核心



暗記でなく仕組みの理解。用語を潰してから演習がオススメ。

● SSCP と CISSP の役割の違い

SSCP

実務者向け

- ・ 1 年以上の実務経験が認定要件
- ・ 実装・運用を担う How 人材
- ・ 中級～上級へのステップ資格

VS

CISSP

管理者向け

- ・ 5 年以上の実務経験が認定要件
- ・ 戦略・経営を担う人材
- ・ 難易度は CISSP が明確に上

選択の軸



SSCP で実務を体系化し、CISSP への足がかりにするとよい。

● 案件・実務で SSCP が評価される場面



SOC・監視・インシデント

ログ分析・インシデント対応で7ドメインの知識が直結



フリーランス案件で活用

資格と実務の組み合わせで案件の幅と単価が広がる



評価の核心

資格は実務とセットで初めて案件価値になる。



● 独学合格ロードマップ（3ヶ月）

1

1ヶ月目

公式ガイドで7ドメインを一周し知らない用語をなくす

2

2ヶ月目

問題集で演習し弱点ドメインを公式ガイドで補強する

3

3ヶ月目

模擬問題で7割超えを確認してから受験を予約する

教材を増やすな。公式2冊を3回回せ。



● まとめ



SSCP は応用情報技術者試験と同レベルの中級資格。
実務経験者 50 ～ 100 時間、初学者 100 ～ 200 時間が目安



3つの壁（英語教材・7ドメインの広さ・合格率非公開）は対策が明確。模擬
問題7割安定が受験の基準



公式2冊で7ドメインの用語を潰し、資格と実務をセットで案件価値に変
える

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

[セキュリティプロ・テンショク >](#)

